



見分森

第593号

2020年
6月19日(金)

発行:学校法人協和学院 水沢第一高等学校 (文責:藤沢)

地域清掃ボランティアをしながら2学年交流

6月10日(水)、日頃お世話になっている地域の方々のためにごみ拾いで貢献をすること、修学旅行につながるように新しい交流の輪を広げ、学年を盛り上げるきっかけを作ること、2年生が地域清掃ボランティア&学年レクリエーションを行いました。

当初は4月29日(水)・30日(木)にボランティア清掃、5月13日(水)に学年レクリエーションを行う予定でしたが、全国的な新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、一旦は2つの行事を中止としていました。感染リスクが低減してきていることと、地域貢献・学年交流への思いが強かったことから、実行委員会を軸に再度計画を練り直し、今回の行事を実現しました。清掃は、小山地区センター・Zプラザアテルイ・南都田地区センターを出発地に、クラスごとに見分森まで4ルート(約4km)に分かれて実施、見分森駐車場に着いて拾ってきたごみを分別。その後、開会式をやり班ごとにBBQを開始しました。

学年レク委員長の鹿野かれんさんは「ごみ拾いは各コースとも落ちているごみの量が少なく、普段の地域の方々の意識が高いことを感じました。私が拾ったものにはペットボトルとたばこが多く、これはポイ捨てが原因だと思しますので、ポイ捨てをしないようにという呼びかけをしていきたいと思いました。また、BBQでは親睦を深められましたし楽しめましたので、良かったです。今回の学レクで培った『皆をまとめる力』をさらに伸ばし、修学旅行に活かしていきたいです。」と話してくれました。



《校訓》「神清智明(しんせいちみょう)」「松操竹節(しょうそうちくせつ)」「衆心成城(しゅうしんしろをなす)」
心は清く賢明で、確固たる信念を持ち、心を一につにすれば何事も成せる。
『教育の精神』 教えることは教えられることだ 育てることは育てられることだ
生徒と教師の間に この緊密な関係が成り立つときはじめて「教育」というステージの幕が開かれる
子どもから学びながら 父母や地域に支えられながら はじめて「学校」という豊かなドラマが 進行する
『教育目標』 人間の尊厳を自覚しそれを貫く人間 いかなる困難にもうちかって、自主的に生きる人間
正しい知識と技術を身につけた人間に育てること

水沢第一高等学校の教育(共育)の考え方・土台は、この校訓と精神です。

安全第一 自転車点検

6月17日(水)~19日(金)の3日間、学年ごとに交通安全委員による自転車点検が行われました。

点検項目は、ステッカーやベルの有無、ハンドルの取り付け角度やブレーキの利き、施錠など。交通安全委員は、安全に登下校するために、1台1台丁寧に点検を行っていました。委員長石川太郎さんは「自転車点検などをして、事故になる要因を減らすことが大切だと考えています。事故を減らせるように、交通安全委員と頑張っていきます。」と点検への思いを話してくれました。



6月		
20	土	部活動停止期間
21	日	珠算・電卓実務検定
22	月	
23	火	
24	水	↓
25	木	前期中間考査
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	生活・スマホアケート
7月		
1	水	整容指導
2	木	クラスマッチ 野球地区予選
3	金	↓
4	土	教員勤務日
5	日	ビジネス文書実務検定
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	バレー私学大会
10	金	学年成績会議 ↓
11	土	野球県大会開幕
12	日	ビジネスコミュニケーション検定
13	月	2年探究導入講座 成績会議 職員会議 (短縮4)
14	火	
15	水	3年志望理由書き方講座 三者面談(短縮4時間)
16	木	
17	金	英検
18	土	教員勤務日 数検 GTEC
19	日	
20	月	↓
21	火	終業式 クラブミーティング 整容指導
22	水	3年就職模擬面接



調理科3年「総合調理実習」開始

休校等で休止していた大量調理の技術等を学ぶことを目的とした調理科3年生の「総合調理実習」が5月末から始まりました。これまで1回につき2クラスの生徒と教職員、希望する調理科3年生の保護者等の方を対象としていましたが、今年度は「三密」など新型コロナウイルスの感染リスク低減に配慮し、1クラスの生徒と教職員のみを対象に食事を提供することにしました。調理はもちろん、献立作成から食材発注、検収、集金等まで、8～9名ですべてこなします。

1回目は「チーズ入りハンバーグ 野菜のコンソメスープ シーザーサラダ フルーツゼリー ライス」、2回目は「鶏そぼろ丼 筑前煮 とろ玉鶏だんごの絶品汁 オレンジゼリー」、3回目は「親子丼 アサリのお吸い物 ほうれん草の胡麻和え 抹茶のムース」でした。

「総合調理実習」を担当している調理科3年生の安倍正樹さんは「私達調理科は3班に分かれて、毎週金曜日の昼休み時間に約60名の生徒・教職員を対象とした集団給食を実施しています。総合調理実習では、安心・安全な料理を提供することを第一に、試食してくださった方の純粋な『美味しい』を聞けるように努めています。」と実習にかける思いを話してくれました。



1年生「探究導入講座」開催

6月10日(水)6校時、1年生対象「探究導入講座」を行いました。講師はマイナビの丸山絵里さん。なぜ今「思考力、判断力、表現力」が必要なのか等について考えながら「自ら考え行動できる人」をキーワードとして、探究の意義や活動のサイクルについての理解を図ろうと開催しました。

受講した菊池優汰さんは「今回の探究の講座を聴いて思ったことは、自ら考えて行動できる人が社会で生きていけると知りました。周りの人と協力していくうえで、コミュニケーションをとらないといけないので、授業中に教え合うなど日々コミュニケーション能力を高めていきたいです。」と話してくれました。



福寿荘に手作りマスク寄贈



地域貢献を主とした探究活動の一環「#やっちゃえ水一」の中の3年1組マスク班(5名)が手作りマスクを作製。6月3日(水)に手作りマスク50枚を3名が代表して、近隣の養護老人ホーム寿水荘へ直接出向いて寄付してきました。

マスクを受け取った利用者の方からは「大事に使わせていただきます。とても素晴らしい。」と言って頂きました。

マスク班の千葉綾香さんは「私たちの班は、休校期間中に老人ホームや地域の方、学校内で困っている人に向けてマスクを手作りする計画を立てました。実際に作ってみると、立体のカーブ部分を均等に縫うことが難しく、また家に持ち帰って作業するなど空き時間を活用して作業することが大変でした。マスクは裏地にガーゼを使用し、肌に優しいマスクにしました。全部のマスクを消毒し、安全だと思っていただけるように「消毒済みカード」を一緒に入れました。寿水荘に寄付をしてたくさんの方々に喜んでいただき、とても嬉しく、たくさんの方々のマスクを作った甲斐がありました。他の施設や一般の方への配布も考えていきたいですし、夏用マスクの開発や、楽しんでもらえるようなマスクキットの制作も進めていきたいです。材料の布やゴムなどを寄附してくださった方々、ご協力ありがとうございました。」と取り組みについて話してくれました。

放課後課外Start

6月9日(火)から、3年生の大学・短大・医療系専門学校志望の進学クラス生徒対象放課後課外をスタートしました。



1年生初考査に向け目標設定

6月25日(木)～30日(火)に行われる高校初の前期中間考査に向け、考査の目標点や学習取り組みについてクラスで話し合い、考査に向かう意識を高めました。

教育相談日

基本毎月の第1週目は(水)、2週目以降は(火)が教育相談日となっており、スクールカウンセラーの高橋昇先生が教育相談室(保健室隣)にいらっしゃいます。相談対応は原則8:45～16:45までの1時間、予約制です。相談のご希望がある場合には、担任または養護教諭(及川志保先生)にお話してください。相談日時を調整のうえ、ご連絡いたします。生徒の皆さんはもちろん、保護者の方のみの相談も受け付けております。お気軽にご連絡ください。(在室予定 6/23 7/2.8.14.21 8/25 9/2.8.15.29)